

道母連だより

新年を迎えて



北海道知事
鈴木直道

新年明けましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては、健やか
に新年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。

北海道母子寡婦福祉連合会にお
かれては、北海道母子福祉セン
ターや母子家庭等就業・自立支援
センターの運営により、ひとり親
家庭の相談支援に取り組まれると
ともに、道庁をはじめとする公共
施設での清掃業務受託により雇用
機会を確保し、奨学金の給付によ
り子どもたちの就学を支援するな
ど、様々な活動を通じて、道内の
ひとり親家庭の自立促進や福祉の
向上を支えていただいていること

に、心から感謝申し上げます。

昨年、貴会は結成七十周年を迎
えられました。この間、ひとり親
家庭を支えてこられた方々に、心
より敬意を表します。八月には、
節目を記念する北海道母子寡婦福
祉大会が盛大に開催され、私も出
席させていただきました。お祝い
の言葉をお伝えするつもりでまい
りましたが、逆に皆様から感謝の
花束を頂戴し、皆様のお心遣いに、
改めて感謝いたします。

昨年四月には、「北海道子ども
基本条例」を施行し、全てのこども
もが個人として尊重されること
や、適切に養育されることなど、
五つの基本理念に基づき、こども

第104号

発行日/令和8(2026)年1月1日
発行/社団法人北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-0003
札幌市中区北一条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワード

施策を推進していくこととしまし
た。道では、この条例の下、ひと
り親家庭の皆様が地域で安心して
暮らせるよう、生活や就労に関す
る相談支援、各種貸付金・給付金
制度による経済的な支援など各般
の施策に取り組んでまいりますの
で、引き続き、皆様のご理解とご
協力を賜りますようお願い申し上
げます。

新しい年におきましても、貴会
が会員の絆を大切にされ、活動の
充実が図られることをご期待申し
上げますとともに、皆様お一人お
ひとりにとりまして、実りある素
晴らしい一年となることをお祈り
申し上げ、新年のご挨拶といたし
ます。



年頭にあたって

理事長 畑 和子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

戦後の復興の中、物のない時代、
先輩たちの熱意と勇気ある行動が
母子家庭や寡婦家庭に明るい未来
を紡いできました。

児童扶養手当を高校卒業まで支
給してくださいと国会議員の先生
方に掛け合ったことなど、その人
たちや仲間は居なくなりました。
「我が幸は我が手で」を合言葉に子
どもたちのために必死に、生きて
きた強くて尊い母たちの姿があっ
たこと。忘れてはならない。

そして、今やることは何かを次
世代につなげていく使命を与えら
れています。

物が溢れていても子どもの貧困、
寡婦の貧困など課題は尽きません
が、みんなで知恵を出し合い、ひ
とり親家庭に寄りそい支えあつて
前へ進む一年にしたいと思います。

道母連だよりの揮毫は、「我が幸
は我が手で」全国を繋いできた山
高しげり先生です。

みなさんの声をお寄せください。
躍動的な一年になりますように。